

SAPICA

いっしょに

ななほし  
七星 ころ

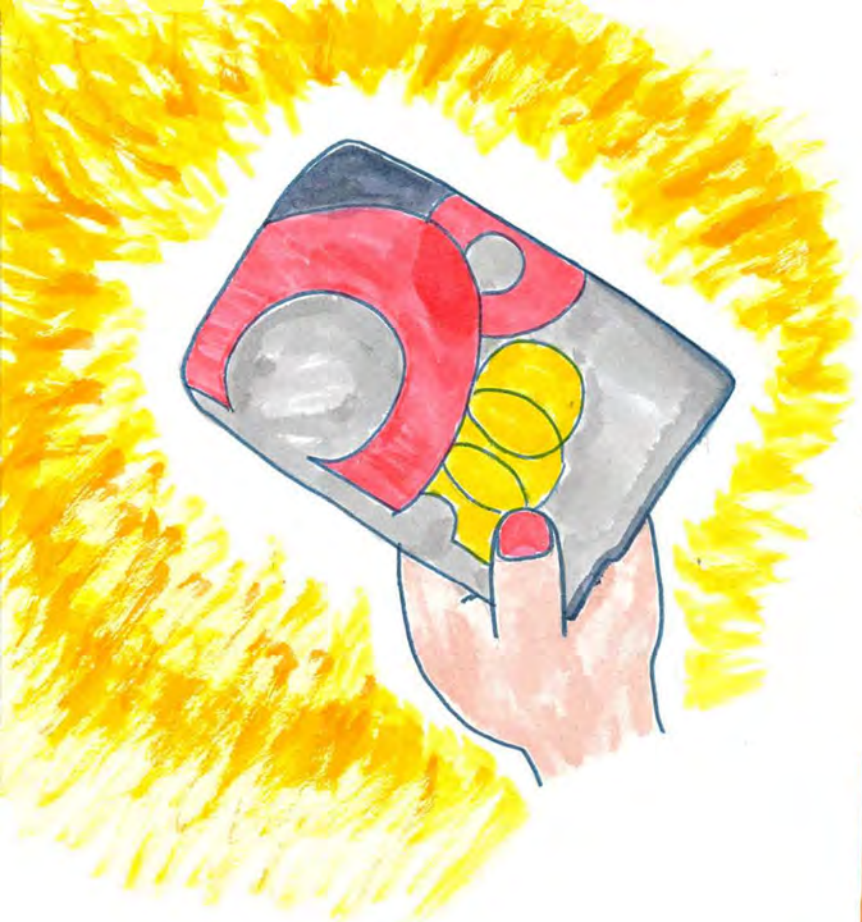


きょうは、どようび。  
ここは、西18丁目のえき。

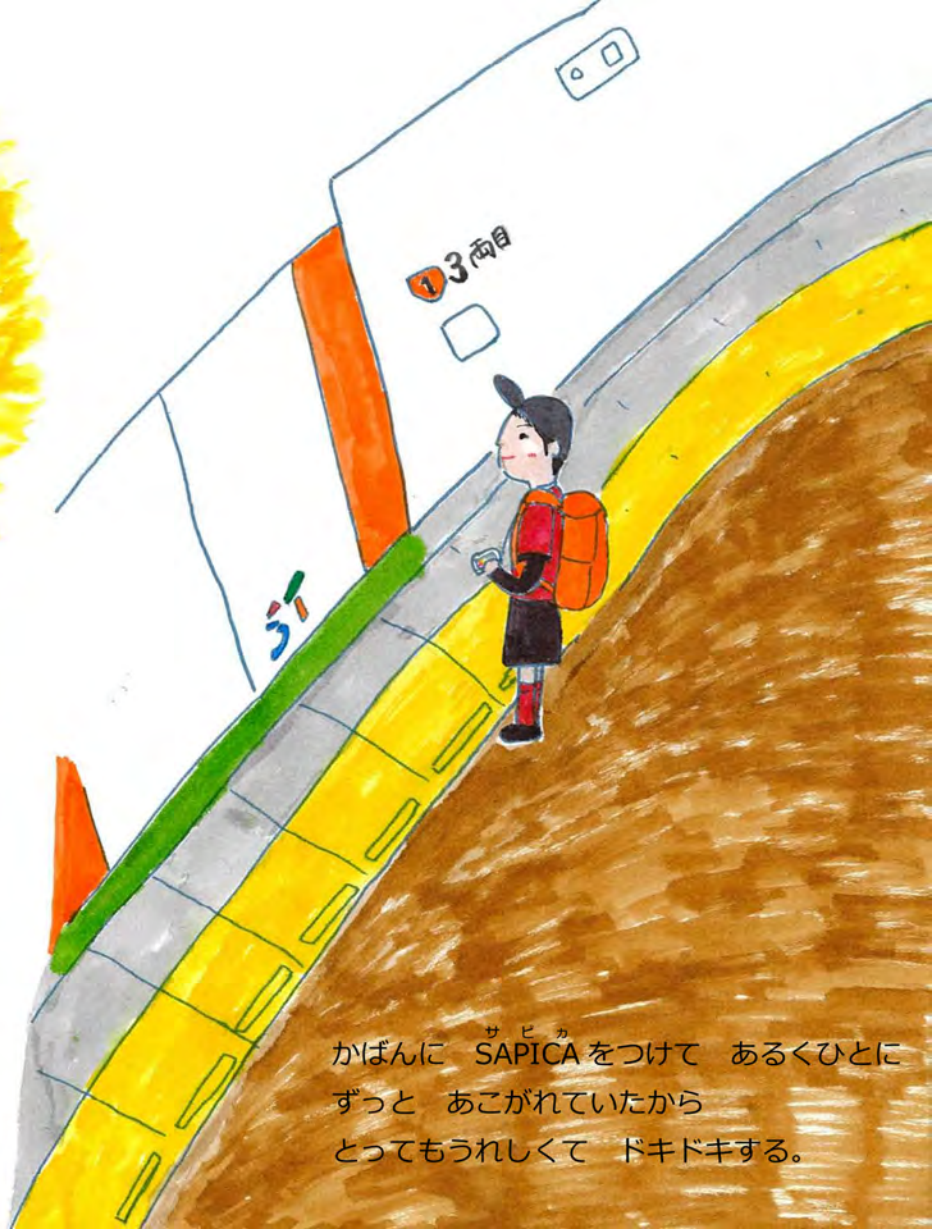
ぼくは、サッカーのれんしゅうじょうへ いくために  
宮の沢ゆきの 東西線にのる。

とうざいせん  
東西線には、もうなんかいも のっているけれど  
ぼくひとりだけでのるのは、きょうが はじめてだ。





1ねんせいになって かってもらったばかりの  
たいせつな <sup>サピカ</sup>SAPICA。



かばんに <sup>サピカ</sup>SAPICAをつけて あるくひとに  
ずっと あこがれていたから  
とってもうれしくて ドキドキする。



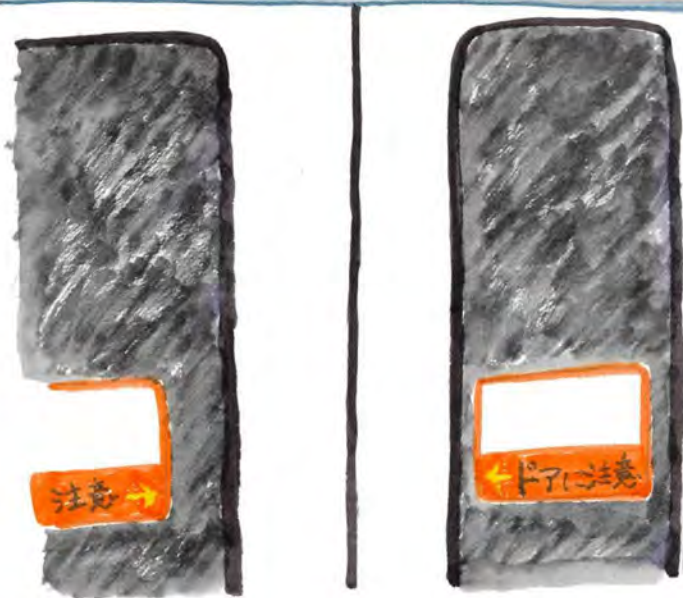
さっぽろのちかてつはゴムタイヤではしている。  
せかいでさいしょにできたゴムタイヤではしる  
ちかてつなんだ。



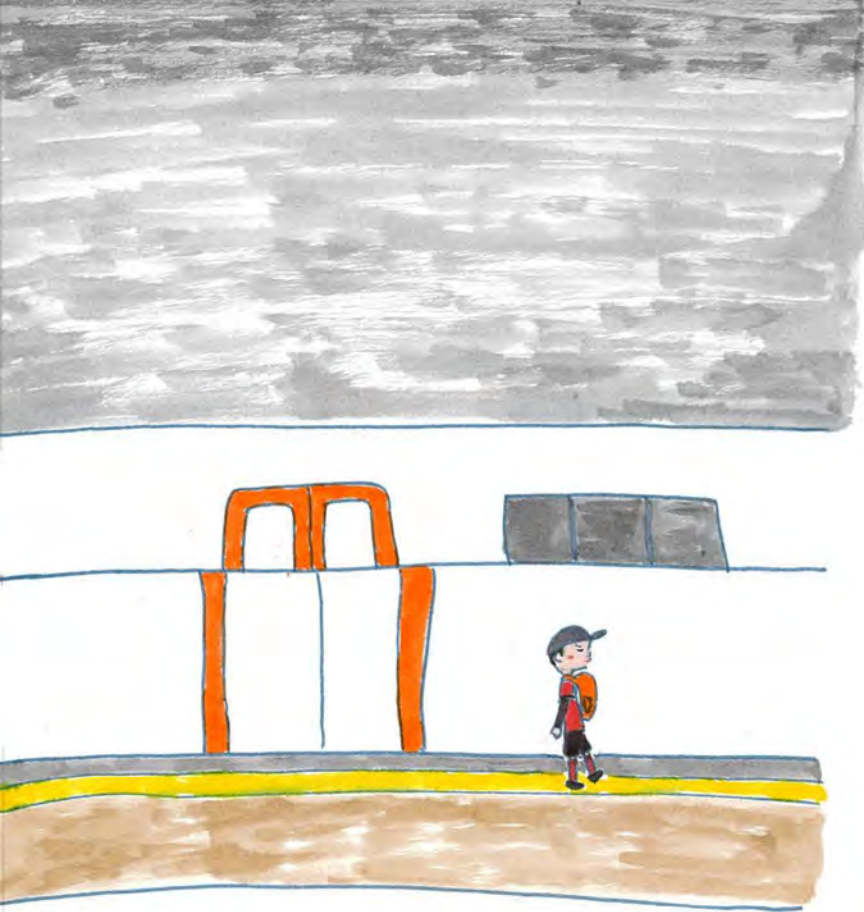
まっすぐあるけないほどゆきがふぶいたとき  
ちかてつならだいじょうぶ。  
さっぽろにはなくてはならないのりものだ。



8:40 発の東西線、ぼくは、3りょうめにのる。  
 このじかんは、だいたい7ふんかんかくで  
 はしている。



ぼくが おりるえきは、しゅうてんの 宮の沢えきだ。  
 宮の沢えきについたら、バスターミナルへ行って、  
 ジェイアール 北海道バスに のりかえるのだ。



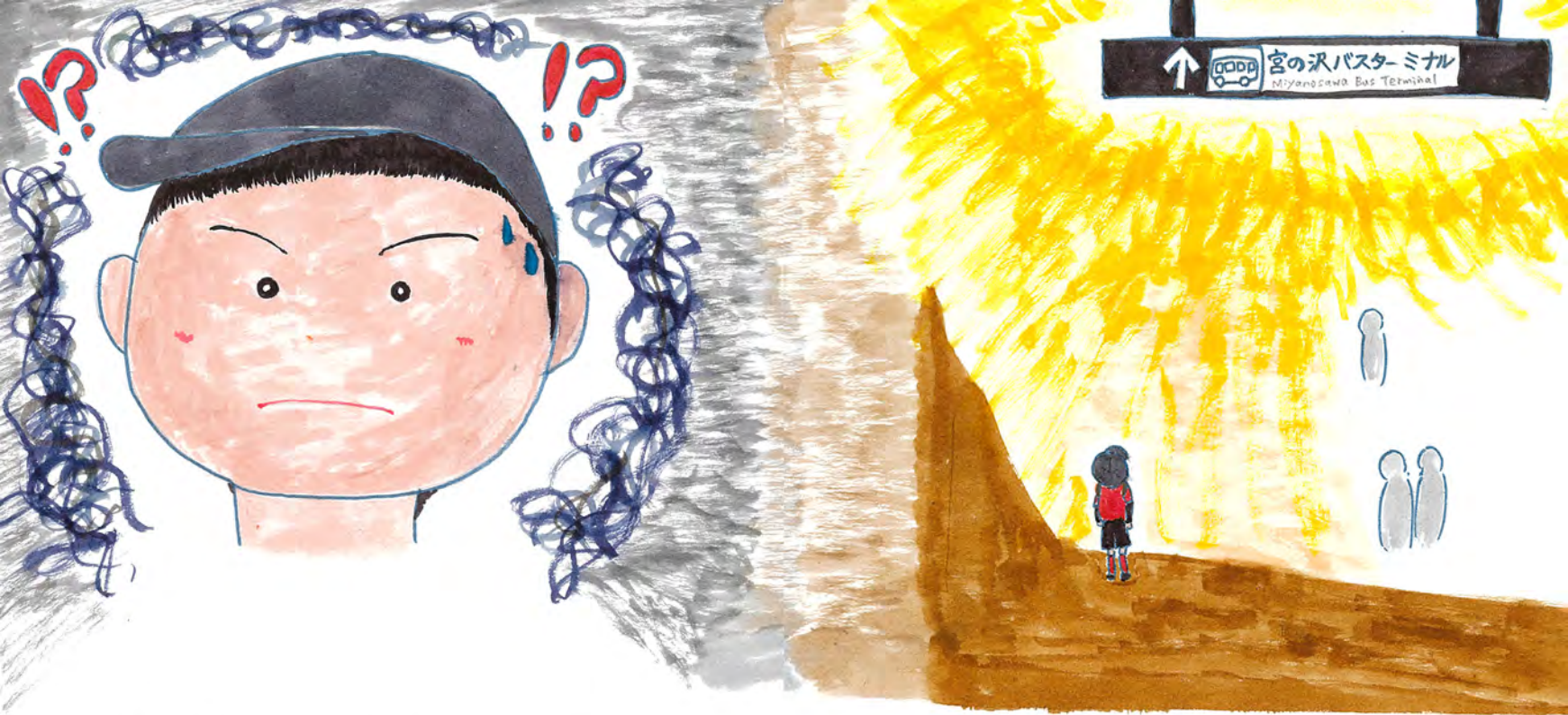
「しゅうてん <sup>みや きわ</sup> 宮の沢です」

おりるときに、こころのなかで <sup>とうざいせん</sup> 東西線に

「ありがとう」という。

かいさつをとおって、いつもの エスカレーターにのる。  
みおぼえの あるみちを、まっすぐに あるいていく。





すると、めのまえに わかれみちがある。

「あれ？ どっちへ いくんだっけ…」

「バスターミナル、どっち??」

ぼくの りょうてが じんわりと あせでしめっていく。

「どうしよう…!!」

ぼくは、たちどまったまま、うえを みあげた。

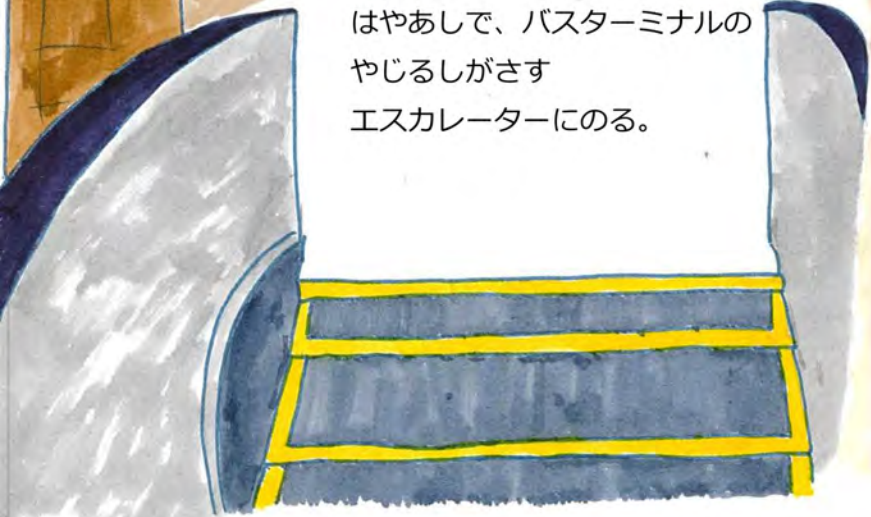
そうしたら、めのまえの くろいかんばんに

バスマークが ひかっている！

そのよこには「バスターミナル」とかいてある！



「そうだ、あっちだ！」  
 おもわず こえに だしてしまった。  
 はやあしで、バスターミナルの  
 やじるしがさず  
 エスカレーターにのる。



なんだか おなじみちを とおっているのに  
 ぼくってば、ぜんぜん まわりを みていなかったみたい。  
 のりばは5番だ。  
 9:12 発、手稲営業所前ゆき。



ぼくは、SAPICA をタッチして、JR 北海道バスに  
 のりこむ。  
 ちょっと ドキドキしたけれど、のりかえもできた。  
 つぎは、SAPICA といっしょに しでんにも のりたいな。



